

第45回 SCCJセミナー開催のご案内

お客様に満足いただけるスキンケア製品を目指して

－ 知っておきたいスキンケア開発の実践 A to Z －

今回は、「お客様に満足いただけるスキンケア製品を目指して－知っておきたいスキンケア開発の実践 A to Z－」と題し、スキンケア商品の企画～開発～生産の流れで、業界内の7人の講師の皆さんからお話いただきます。スキンケア製品の中でも「保湿」を題材としつつ、現場の開発担当者の皆さんの、商品企画から市場に出すまでに日頃直面されている課題解決という視点で構成致しました。また、今回も、講師の皆さんにはフリーディスカッションのお時間を頂戴し、時間に限りのある講演の中だけでは語りつくせない情報入手の場をご用意いたしました。講師の皆さんと直接お話いただくことで、講演の内容理解がより深まり、また、講演を聴くだけでは得られないタネが見つけれられることと思います。皆様には、奮ってご参加いただきますようお願いいたします。

日 時 2015年2月24日(火) 10:00～17:35 (受付開始 9:30)

会 場 セミナー：きゅりあん 8階 大ホール
フリーディスカッション： 同会場 7階 イベントホール
〒140-0011 東京都品川区東大井 5-18-1
<http://www.shinagawa-culture.or.jp>

参加費

会員 (正・準・シニア)	13,000 円
代理出席 (注1)	13,000 円
一般	19,000 円
当日参加 (会員・一般共に)	19,000 円

(注1) 正会員が不参加の場合は代理人1名が代理出席を利用できます。

申込方法 申込用紙に必要事項をご記入の上、下記の番号までFAXを送信願います。

FAX ⇒ 045-590-6093

申込を頂きましたら確認のFAXを事務局から返信致します。3～4日以内に届かない場合は、事務局までご連絡をください。なお、参加証は発行しておりません。

<申込締切日 2月10日 (火)>

<振込締切日 2月17日 (火)>

お振込みの際、振込人氏名(御社名)の前に**45**をご記入願います。

振込先

みずほ銀行 銀座支店 普通 1797932
「日本化粧品技術者会 代表 嶋原 靖宏(シギハラ ヤスヒロ)」

キャンセルおよび複数でのお振込みの詳細は最終ページをご覧ください。

お客様に満足いただけるスキンケア製品を目指して － 知っておきたいスキンケア開発の実践 A to Z －

< スケジュール >

< 総合司会 高橋和久 (株)日本色材工業研究所 >

時間	題目・講師
10:00-10:05	開会の挨拶 セミナー委員長 鈴木裕二

< 座長 小又昭彦 (株)資生堂 >

10:05-10:45	美しさという本能を呼び覚ます 現代女性の心と肌を虜にする化粧品開発への取組み (株)ポーラ 商品企画部 B. Aブランドマネジャー 砂金美和 氏
10:45-11:25	スキンケア化粧品のコンセプトの変化 － 角層を保湿することの重要性 － (株)CIEL 岡野由利 氏
11:25-12:30	昼食休憩

< 座長 吉武裕一郎 (オープン化粧品(株)) >

12:30-13:10	高保湿スキンケア製剤の処方設計の考え方 (株)資生堂リサーチセンター 岡本亨 氏
13:10-13:50	保湿化粧品の有効性評価 － セラミド配合製剤の事例 － 花王(株) スキンケア研究所 片山靖 氏
13:50-14:30	高速攪拌機とスケールアップ プライミクス(株) 乳化分散技術研究所 本部研究室 春藤晃人 氏
14:30-14:40	休憩

< 座長 今井健仁 (ホーユー(株)) >

14:40-15:20	「まさか」の品質トラブルを防ぐ － 品質保証のあり方について考える － SHONAN T. Q. M研究会 和田孝介 氏
15:20-16:10	失敗に学んだか…!? 開発研究の醍醐味と落とし穴 (株)コスモステクニカルセンター 鈴木敏幸 氏

< 総合司会 小又昭彦 (株)資生堂 >

16:20-17:30	フリーディスカッション
-------------	-------------

17:30-17:35	閉会の挨拶 セミナー副委員長 万代好孝
-------------	------------------------

演題 ① 美しさという本能を呼び覚ます 現代女性の心と肌を虜にする化粧品開発への取り組み

株ポーラ 商品企画部 B. Aブランドマネジャー 砂金美和 氏

要旨：化粧品に対する女性のニーズは、時代の価値観や女性を取り巻くライフスタイルによって変化します。スキンケア・メイク・ボディケア・ヘアケア、カテゴリーを越えて科学的に効果を極めた化粧品は優れていると理解される。一方で、売れる。ということとは必ずしも一致しないことも少なからずあります。何が、女性の心を捉え、購入を決定付けるのか？ 女性の心の中に潜むインサイト発掘から商品コンセプトを創造し、製品開発においてどのように具体化するのか？ 19年間、化粧品開発に携わって来た中で経験した成功事例の紹介と共に、コンセプト発想型の研究&製品開発について紹介したい。

演題 ② スキンケア化粧品のコンセプトの変化 – 角層を保湿することの重要性 –

株CIEL 岡野由利 氏

要旨：スキンケア化粧品の皮膚への本質的な有効性は、皮膚表面に存在する角層の保湿ケアではないだろうか。近年、皮膚に付与した水分の蒸散速度をスキンケア化粧品によって制御することの重要性が皮膚科学的な観点からその作用機序があきらかになりつつある。また、皮膚そのものの保水能に大きく寄与するNMFの前駆タンパクであるフラグリン代謝の異常が乾燥性皮膚やアトピー性皮膚炎の原因となることが報告されている。乾燥性皮膚では微弱な炎症が惹起されていることが確認され、さらに真皮細胞外マトリックス(ECM)の変化へも影響する可能性を示唆する報告もなされている。このように、近年、皮膚を良い状態に保つために、あらためて“保湿すること”の重要性が注目されている。ここでは、皮膚科学の進歩とともに変遷してきたスキンケアコンセプトについて触れながら、皮膚表面を保湿することの重要性を示すデータを紹介する。

演題 ③ 高保湿スキンケア製剤の処方設計の考え方

株資生堂リサーチセンター 岡本亨 氏

要旨：肌を乾燥から守ることはスキンケア化粧品の最も重要なテーマである。うるおいのある肌に通ずためには肌(角層)自身の保水性やバリア性を高めることが不可欠であるが、肌に展開した製剤塗布膜も大きな役割を担っている。角層からの水分が失われることを防ぐためには塗布膜にオクルージョン効果を与えることが重要である。一方、角層の保水性やバリア機能を補完する成分やそれらを外部から角層に浸透させる機能にも目を向けるべきである。本講演ではスキンケア製剤が角層に対してもたらす役割に着目し、高機能なスキンケア化粧品の設計について考えてみたい。

演題 ④ 保湿化粧品の有効性評価 – セラミド配合製剤の事例 –

花王株 スキンケア研究所 片山靖 氏

要旨：昨今、皮膚科学、化粧品科学の目覚ましい進歩により、皮膚生理に対する効果は化粧品と医薬品のボーダーレス化が進んでいる。化粧品の効果に対して消費者の期待度も非常に高い。このような状況下、化粧品の効果・効能(エビデンス)を客観的に捉えることがますます重要になってきている。ポイントは、個々の化粧品がどのようなメカニズムで効果をもたらすかにあると演者は考える。本講演では、「保湿化粧品の有効性評価」と題し、セラミド配合製剤に焦点を当てる。まず、皮膚角層におけるセラミドの機能を説明し、その機能及び機能発現メカニズムに基づいた有効性評価法を概説する。さらに、そのような有効性評価を行った結果、敏感肌ケアやエイジングケアへの応用の展望が開けた事例を紹介する。

演題 ⑤ 高速攪拌機とスケールアップ

プライミクス(株) 乳化分散技術研究所 本部研究室 春藤晃人 氏

要旨：高速攪拌機は流体に強力な剪断作用を与えることにより、水と油の乳化や、凝集粒子の分散など、化粧品製造のプロセスにおいて重要な工程を担う機器であり、わが国で採用されてからの歴史は半世紀を超える。その高速攪拌機を用いて、ラボでの実験データをもとに、ベンチ、パイロット、プラントへとスケールアップするには、理論だけでなく経験に基づくスケールアップ技術が重要である。本講演では、攪拌機メーカーからの視点で、高速攪拌機を中心とした機器の選定とスケールアップの基本について紹介する。

演題 ⑥ 「まさか」の品質トラブルを防ぐ – 品質保証のあり方について考える –

SHONAN T. Q. M研究会 和田孝介 氏

要旨：手順に従い試験、検査を実施、合格として出荷した製品に予想もしないトラブルが発生し頭を抱え込むことがあった。品質トラブルが発生すると販売実績に大きい影響を与えるだけでなく失う信頼もはかり知れない。実際に発生したいくつかのトラブルを参考に信頼ある製品づくり、品質保証のあり方に試行錯誤しながら取り組んだ事例を紹介する。

演題 ⑦ 失敗に学んだか…!? 開発研究の醍醐味と落とし穴

(株)コスモステクニカルセンター 鈴木敏幸 氏

要旨：長年商品開発研究を続けていると、さまざまな思いがけない現象や場面に遭遇する。それが難問の打開 (break through) につながることもあるが、大きな落とし穴 (トラブル) となり痛い思いをすることがある。前者は開発のサクセスストーリーとして、色々な事例がよく取り上げられる。しかし後者はあまり語られることはない。当然のことである。誰も恩恵をこうむることは無く、たとえトラブルが解決しても失った時間と労力を思うとゼロにすらならず、決して褒められることはない。本セミナーでは、“痛さも懐かしさのうち” という少し開き直った観点から、商品開発を通じて経験した思いがけない経験 (主にトラブル) とその背景、対処とそこから学んだ…? ことについて『一人の商品開発研究員の歩み』という観点から語ってみたい。内容は《ものづくり》が主であるが、開発研究の難しさという面から《社会・人間関係》についても少し触れたい。

〈お願い事項〉

- キャンセルされる場合は、**2月17日(火)**までにご連絡をお願い致します。参加費納入済みの場合には、後日返金致します。**2月18日(水)**以降にキャンセルされたときは、ご返金できません。
- 申込書に記入された振込金額と異なる場合は、必ず事務局まで **FAX (045-590-6093)**にてお知らせ願います。入金確認業務の円滑化にご協力をお願い致します。

〈お問合せ・お申し込み先〉

日本化粧品技術者会 事務局 (森、内藤)

〒224-8558

神奈川県横浜市都筑区早渕2-2-1 (株)資生堂リサーチセンター(新横浜)内

TEL : 045-590-6025 FAX : 045-590-6093

会場案内図

まゆりあん

品川区立総合区民会館

〒140-0011 品川区東大井5-18-1

<http://www.shinagawa-culture.or.jp>

● 交通のご案内

JR京浜東北線・東急大井町線・りんかい線大井町駅下車徒歩1分

